

令和6年度 家庭教育学級の学習の足跡

第	テ ー マ	
1 回	1年「親子で朗読劇を見てみよう」(PTA1年学級活動との連携)	
講 師		参加者数
「さざなみ21」7名 代表 津田 百合子さん		児童8名 大人8名
   		
今年度1年生の家庭教育学級は、昨年度に引き続いて、1年生児童と保護者の方とで一緒にほうふ幸せます指導者人材バンクよりお招きした「さざなみ21」の皆さんによる3本の朗読劇を鑑賞しました。 はじめは、「どうぞのいす」の朗読劇です。 疲れたら誰でも座れるようにと、うさぎが作った「どうぞのいす」の上にやってきた動物たちが食べ物をおきます。動物たちは「どうぞ」の言葉を読んで、椅子の食べ物を食べますが、後から来る動物のためにかわりの食べ物を次々と置いていくという優しさの感じられる内容です。 「三つの願い」は大木の精に木を切らない代わりに三つの願いをかなえようといわれた木こりとその奥さんが、何気なく日常の小さな願望の実現とそれによって引き起こされる事件の解消に「願い」をつかってしまうという内容で、予想外の展開と個人の幸せについて少し考えさせられました。 最後の朗読劇は昨年に引き続き、ノルウェー民話の「3匹やぎのがらがらどん」でした。鬼のトロールと、彼に橋を通せんぼされる3匹の山羊の掛け合いのようなセリフと様子を表すオノマトペ表現が元気よく反復され、2回目は、1年生が役になりきって、楽しく劇が展開されました。 1年生は、日頃読み聞かせを経験していますが、本日はそれとは異なる貴重な朗読劇体験となったようです。		